

「政治とカネ」に端を発する参院広島選挙区の再選挙 「安倍案件」への良識問う与野党対決

菅政権の行方を大きく左右する国政選挙が4月25日に投票される。参院長野選挙区、衆院北海道2区の両補欠選挙と参院広島選挙区の再選挙だ。

角南 圭祐

広島にとつて不名誉な「政治とカネ」問題に端を発する選挙が、今月に迫っている。自民党を離党した河井案里前参院議員（47歳）の公職選挙法違反（買収）有罪確定による当選無効を受けた参院広島選挙区の再選挙だ。

2019年7月の参院選広島選挙区で、河井陣営による大規模買収事件を引き起こしたのは自民党だ。しかし今回、「どの面下げて」とでも言いたくなるが、元官僚の男性を擁立し出直しを図ろうとしている。一方の野党は、候補者選定が遅れて混乱したが、地元フリーアナウンサーの女性を候補に選んだ。無所属の野党統一候補とな

る見込みだ。主要な他党の目立った動きはまだなく、与野党激突の構図が見え始めてきた。

選挙の争点はやはり「政治とカネ」になるはずだ。しかし、そうはならない気配も漂う。裁判が続く「河井事件」を振り返るとともに、選挙戦を展望する。

自民本部からの1億5000万円

河井事件の背景には「安倍案件」がある。参院広島選挙区は改選2議席。自民は当時現職で岸田派の溝手顕正元国家公安委員会委員長を立てていたが、党本部が2議席独占を狙い、河井克行衆院議員

立憲民主党の佐藤公治衆院議員（右）、森本真治参院議員と出馬記者会見に臨む宮口治子氏（中）＝3月20日、広島市。

（58歳）の妻で県議だった案里氏を強引に2人目として擁立した。

溝手氏はかつて安倍晋三氏を「過去の人」などと批判したこと

もある人物。一方で、克行氏は首相補佐官を務めるなど安倍氏の側近。岸田派の牙城でもある党広島県連は猛反発し、案里氏支援に動かなかった。その中で、党本部は案里氏をしゃにむに支援していく。

党本部が選挙資金として投入したのは、溝手陣営に1500万円、案里陣営には10倍の1億5000万円。破格の待遇と格差付けた。1億5000万円のうち1億2000万円は、税金が元手の政党交付金だということも判明している。

け付けた。資金面でも応援弁士でも、異例の厚遇だった。

県議への買収が確定

選挙では、無所属の野党統一候補だった現職の森本真治氏（現・立憲民主党）がトップ当選し、2番手に案里氏。溝手氏は落選した。そして捜査が動き始めた。

19年10月、案里氏の秘書が選挙カーの運動員に違法な報酬を支払ったという疑惑が報道され、克行氏が法相を辞任。翌20年6月、東京地検特捜部は、地元議員らを買収したとして、公選法違反容疑で河井夫妻を逮捕した。

東京地裁は21年1月、案里氏に懲役1年4月、執行猶予5年の判決を下した。克行氏が主導した買収事件で、案里氏は広島県議4人に計160万円を渡した」という認定だった。案里氏は2月に参院議員を辞職し、控訴せず有罪が確定。自動的に当選無効、公民権も5年間停止された。再選挙は当選無効を受けたものだ。

克行氏の裁判は東京地裁で続い

自民党宏池会（岸田派）会長の岸田文雄前政調会長とあいつ回りをする西田英範氏（右）＝3月13日、広島市。

